

小泉八雲

ふたたび 2026



講演
入場無料
要予約

松江の至宝・小泉八雲(ラフカディオ・ハーン)の面影を、現代日本の知性が新たな視点で語り継ぎます！

Guest ゲスト

第6回



第5回



第4回



アメリカに
忘れしハーン
11月28日〔土〕開演・14:30
■会場・島根県立美術館ホール

武蔵大学国際教養学部准教授
リンジー・モリソン
Lindsay Morrison

プロフィール

米国ジョージア大学在学中の2006年から1年間、早稲田大学で交換留学を経験。2008年に文科省国費留学生として再び来日し、早稲田大学文学研究科研究生を経て国際基督教大学大学院アーツ・サイエンス研究科アーツ・サイエンス専攻で博士号を取得。2022年より現職。専門は日本文化論、日本文学。

内容

日本をアメリカに紹介した作家として知られるラフカディオ・ハーンですが、今ではアメリカではほとんど知られていません。生涯約30冊の著作はすべて英語、また当時の読者もほとんどアメリカ人。では、なぜハーンは忘れられていったのでしょうか？アメリカの新聞記事や書評を通して、ハーン受容の変遷を見ていきます。

2日連続開催

語る雪女、沈黙するお雪
10月31日〔土〕
ハーンと円朝、
それぞれの「牡丹灯笼」
11月1日〔日〕
■開演・両日14:30
■会場・松江歴史館 歴史の指南所

立正大学文学部特任講師
川澄 亜岐子
Akiko Kawasumi

プロフィール

東京大学大学院総合文化研究科単位取得満期退学。博士(学術)。2025年4月より現職。ラフカディオ・ハーンの再話作品を中心に研究しており、最近ではハーンも手掛けた「ちりめん本」など、日本と海外の文化的な影響関係にも関心が広がっている。

内容 / 語る雪女、沈黙するお雪

恐るしくも魅力的な雪女と、優しいお雪。「雪女」に登場する二人の女性を、ハーンは特徴的に描き分けています。その特徴とは何か？そこから浮かび上がるハーンの意図とは？「雪女」を新たな視点で読み解きます。

内容 / ハーンと円朝、それぞれの「牡丹灯笼」

幕末から明治の落語家・三遊亭円朝が創作した「牡丹灯笼」を、ハーンは独自にアレンジして新たな作品を生み出しました。ハーンは「牡丹灯笼」のどこに惹かれたのでしょうか。彼の再話の真髄を探ります。

ラフカディオ・ハーン、
共振する『古事記』
10月4日〔日〕開演・14:30
■会場・松江市民活動センター 交流ホール

千葉大学名誉教授
三浦 佑之
Sukeyuki Miura

プロフィール

1946年、三重県生まれ。共立女子短期大学・千葉大学・立正大学等の教員を歴任。著書に『浦島太郎の文学史』『神話と歴史叙述』『口語訳古事記』(第1回角川財団学芸賞受賞)『古事記を読みなおす』(第1回古代歴史文化みやざき賞受賞)など多数。『古事記』研究の第一人者。

内容

ハーンが日本に関心を持ったきっかけは、チェンバレン教授が著した『古事記』初の英語完訳本一というのが定説です。だとすれば彼は日本の神話をどこまで読み解き、どこに惹かれたのか。ハーンが引用した数少ない『古事記』の記述を丹念に追ってみると……。



Web申し込み

主催：松江市 TEL. (0852) 55-5517 (文化振興課) 後援：小泉八雲記念館
企画：羽田昭彦 (小泉八雲・セツの普及コーディネーター)

※ご予約は開催日の1か月前から承ります